

防衛大学校教授による

第31回 現代の安全保障講座

国際人の教養としての軍事学、日本の安全保障と軍事科学を学ぶ

令和7年11月27日(木) 13:30～16:40 (開場 13:00)	場所：ホテルグランドヒル市ヶ谷 3階「瑠璃西の間」 住所：新宿区市谷本村町4-1 電話：03-3268-0111
--	---

『モディ3.0のインドと「インド太平洋」』

防衛大学校 教授 伊藤 融 氏
(時間／13:35～14:55)



『ガザ戦争と中東安全保障』

防衛大学校 准教授 江崎 智絵 氏
(時間／15:15～16:35)



【聴講定員】 100名(先着順)

【聴講申込】 聴講無料

住所・氏名・連絡先をメール又はFAXで**11月4日(火)**までに下記にお申込み下さい。

先着100名まで受付けます。(聴講できない場合はご連絡いたします。)

体温が、37.5度以上の方はご遠慮ください。

状況により、中止(ご連絡いたします)或いは一部変更となる場合があります。

[お問い合わせ] 全国防衛協会連合会事務局

メール: jim@ajda.jp

TEL: 03-5579-8348

FAX: 03-5579-8349



■主催：全国防衛協会連合会

■後援：防衛省

■協賛：防衛大学校同窓会、
(公財)防衛大学校学術・教育振興会

＜講師＞ 人文社会科学群 国際関係学科 教授 伊藤 融（いとう とおる）

＜テーマ＞ モディ3.0のインドと「インド太平洋」

＜講義概要＞

2024年に異例の3期目に突入したモディ政権の特性を概観し、対外関係、とくにトランプ2.0の米国との関係悪化がなぜ生じたのか、そのことがインドの外交・安全保障政策にいかなる影響を及ぼしているのかを明らかにする。そのうえで、日本を含めた「インド太平洋」におけるクアッドの枠組みの行方を展望する。

＜略歴＞

1992年 中央大学法学部政治学科卒業
1999年 中央大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程後期単位取得退学
2002年 在インド日本国大使館専門調査員（～2004年）
2005年 島根大学法文学部法経学科准教授（～2009年）
2009年 防衛大学校人文社会科学群国際関係学科講師、准教授（～2021年）
2021年 広島大学 博士（学術）
2021年 防衛大学校人文社会科学群国際関係学科教授

＜著書論文等＞

『新興大国インドの行動原理—独自リアリズム外交のゆくえ』慶應義塾大学出版会、2020年
『インドの正体—「未来の大国」の虚と実』中公新書ラクレ、2023年

＜講師＞ 人文社会科学群 国際関係学科 准教授 江崎 智絵（えざき ちえ）

＜テーマ＞ ガザ戦争と中東安全保障

＜講義概要＞

中東では、2023年10月7日に発生したハマスによるイスラエル襲撃事件を機にガザ戦争が勃発した。この戦争が当該地域に及ぼした影響について、主にイスラエルの動向や米国の関与に着目しながら明らかにする。そのうえで、地域的な秩序の方向性について展望を示す。

＜略歴＞

1998年 筑波大学第三学群国際関係学科退学
2005年 外務省在ヨルダン日本国大使館専門調査員（～2008年）
2006年 筑波大学大学院国際政治経済学研究科博士課程単位取得満期退学
2008年 公益財団法人中東調査会研究員（～2012年）
2012年 筑波大学 博士（国際政治経済学）
防衛大学校人文社会科学群国際関係学科准教授

＜著書論文等＞

『イスラエル・パレスチナ和平交渉の政治過程—オスロ・プロセスの展開と挫折』ミネルヴァ書房、2013年
「イスラエルによる秩序の模索とグローバル・サウス—軍事力と外交の狭間で」『中東研究』第549号、2024年
「第二次トランプ政権とガザ情勢—『史上最もイスラエル寄り』な姿勢にみる濃淡」『海外事情』第73巻、第4号、2025年